

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【人権」の木】	昇降口周辺のスペースに「人権コーナー」を設置。「会瀬『あいいうえお（あいさつ・いじめなし・えがお・おそうじ）』」の合い言葉のもと、身近な人権について知り、考え、実践への意識作りの場としている。全校児童が自分で考え、実践していこうとする取り組みや呼びかけを花型のメッセージカードに記入し、人権の木に掲示した。全児童が通る階段下に設置することで誰もが確認できるようにした。
	成果 全児童が1日に何度も通る場所に掲示したことで、児童が、自分や友だちの書いた内容を声に出したり、確認し合ったりする様子が見られた。児童の考えや気持ちを表現することができた。みんなが笑顔で生活できるようにするための具体的な方法を考え、意識を高めることができた。
	課題 自分の言葉で表した事柄を実践する力をさらに高められるように、道徳や特別活動等を通して指導していきたい。
2 実践2 【ハッピースマイル大作戦】	いじめのない学校・楽しい学校を目指した全校集会活動とし運営・JRC委員会が企画・運営して行った。日頃の学校生活の場面で、どういったことが人権の侵害になるのかを、委員会の児童が劇風にして発表した。また、各クラスで取り組む目標として「人権スローガン」を話し合い、全校集会で発表した。また、スローガンに関して、児童一人一人が具体的行動目標を記入したものをクラスごとに掲示物にまとめ、掲示した。
	成果 身近な「人権に関わる場面」を劇にして表現したことで、低学年にも「人権とは何か？」を分かりやすく伝えることができた。学級ごとに「いじめ」をテーマに話し合いをし、スローガンを決め、発表用模造紙に書き、集会で発表できた。個人でも、自分ができることをハート型のカードに書き、学級ごとにラシャ紙（「ハートいっぱい」）に貼って掲示することができた。
	課題 具体的な目標設定ができたので、実践を継続していけるよう指導していきたい。